令和6年 第7回

君津市教育委員会会議録

日時：令和6年7月16日（火）午後3時00分

場所：5階大会議室

令和6年第7回君津市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和6年7月16日(火) 午後3時00分開会 午後4時45分閉会
- 2 場 所 5階大会議室
- 3 出席者 教育長 粕谷哲也
委 員 小倉洋一、佐藤 薫、増田亜紀
- 4 出席職員 教育部長 丸 博幸、教育部次長(事)教育総務課長 茂木 一也
教育部副参事(事)学校教育課長 諏方壽一郎、生涯学習文化課長 塚越 直美
教育センター所長 小嶋 裕一、中央図書館長 高橋 さよ
(事務局) 教育総務課副課長 岡本 忠大
- 5 傍聴人 1名
- 6 会議日程 日程第1 前回会議録の承認について
日程第2 教育長報告について
日程第3 議案第 1 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
議案第 2 号 君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示について
議案第 3 号 令和7年度使用教科用図書の採択について
報告第 1 号 専決処分(共催及び後援関係)の報告について
報告第 2 号 令和6年度出土遺物公開展「小糸川周辺の鎌倉・室町時代～みふねの里保育園の下に遺跡があった!～」の開催について
報告第 3 号 イングリッシュ・デイ・キャンプ・英検プラクティスについて
報告第 4 号 君津市中学校合同生徒会について
報告第 5 号 保護者連携システムについて

粕谷教育長

ただいまの出席者は4名で、定足数に達しておりますので、これより、令和6年第7回君津市教育委員会会議を開催します。

なお、本日の会議を傍聴の申し出があり、これを許可いたしましたので、ご了承願います。

粕谷教育長

日程第1 前回会議録の承認について、を議題といたします。

事前にご確認をいただいておりますが、各委員から何かお気づきの点はございますか。

粕谷教育長

ご意見等も無いようでございますので、採決を行います。前回会議録の承認について、賛成の委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

粕谷教育長

挙手全員。会議録につきましては、承認されました。

粕谷教育長

日程第2 教育長報告について、7月に出席した行事及び出席予定の行事についてご報告いたします。

内容は記載のとおりでございますが、この中から、2日の令和6年度第2回君津市校長会議において、私がお話した内容をご報告いたします。

はじめに、いじめの根絶についてです。本市では、令和3年11月に、合同生徒会で、「思い合い その一言で ニコニコに」を合言葉に「いじめ防止本気キャンペーン」をスタートさせました。現在、市内7中学校区ございますが、周南中学校区で、「いじめゼロ 自分の心に問いかけて 標語で終わらず 実現へ」のサブスローガンを掲げるなど、市内の各小中学校でも、児童会や生徒会を中心に、いじめ防止に向けて継続した取組が行われているところでございます。北海道旭川市での、女子中学生が2021年に自殺をした問題については、6月30日、教育評論家の尾木直樹氏を委員長とした「再調査委員会」で「いじめが自殺の主たる原因であった可能性が高い」と因果関係を認めました。いじめは絶対に許されない行為でございます。いじめ根絶に向けて引き続き、君津市内全小中学校において緊張感をもって取組が進められるよう、あらためて、各校長に指示をいたしました。

次に、先生方が自ら授業改善への意識を高めることを目的として、千葉県教育庁南房総教育事務所が作成した、授業の「セルフチェックシート」について、管理職が、その意義を正しく認識し適切に生かすための検討を行うようお願いいたしました。

さらに、各校長に対しては、教職員の適切な人事管理を行うために、積極的に校長室から飛び出し、校長自身が、授業をしたり、執務に当たったりする教職員の様子を、つぶさに観察することの必要性・重要性をお伝えいたしました。

報告は以上でございます。

粕谷教育長

ご質問等、ございますか。

小倉委員

以前にも何回か質問させていただいていますが、いじめゼロということは大変重要であると思っておりますけれども、私が教育委員になった頃は、重大事態というもの、毎年1件くらい報告があったと思っておりますが、おそらくここ3年くらいは1件も報告がないと思っておりますけれども、そういう重大事態に発展するようなものの報告はないのか伺いたいと思っております。

諏方学校教育課長

重大事態がありましたのが、本市では令和元年に3件ほどありました。令和2年以降は、本市では重大事態はないという状況であります

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、日程第3議事に入ります。

本日の案件は、議案3件、報告5件でございます。議案第3号については、教科用図書君津採択地区協議会の取り扱いとして、採択の結果を8月31日まで非公開としているため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開による審議としたいと思いますが、このことについて、賛成の委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

粕谷教育長

挙手全員。よって、議案第3号については、非公開により審議いたします。

なお、議案の審議は、議事進行の都合上、日程の最後といたします。

粕谷教育長

はじめに、議案第1号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について、を議題といたします。議案第1号について、事務局の説明をお願いします。

茂木教育部次長

議案第1号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価についてご説明いたします。

本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づく教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について、君津市教育委員会行政組織規則第4条第14号の規定により議決を求めようとするものでございます。

「一 点検・評価の目的」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たす観点から、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものでございます

「二 点検・評価に関する報告の内容」については、1点目として、「教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項」について、2点目として、「総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項」について、3点目として、「教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果」についての報告の内容になります

「三 取組状況及び点検・評価結果の概要」につきましては、令和5年度の取組状況や評価結果の概要を報告するものです。「教育委員会会議の開催状況及び審議内容等」ですが、令和5年度は、教育委員会会議を12回開催し、審議案件38件、報告事項41件について審議を行いました。審議内容等の詳細につきましては、資料に記載しておりますので、そちらをご覧ください。

続いて、「総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項」ですが、令和5年度については、総合教育会議の開催はありませんでした。

続いて、「教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果」ですが、教育振興基本計画は、計画の実効性

を高め、教育施策を強力に推進するため、君津市総合計画基本計画と整合を図り策定したことから、施策の評価についても、君津市総合計画実施計画と同一の基準により評価を実施しました。目標の達成に向けた取組状況を考慮し、AからDの4段階で総合的に評価を行いました。

それでは、施策分野ごとに、取組実績及び評価結果を簡単にご説明いたします。はじめに、教育振興基本計画の第1「自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する」について説明します。総合計画における位置付けは、「柱3の2 学校教育」となります。

施策①「子育てできる環境づくり」については、小中学校へサポートティーチャー14名、サポートスタッフ28名を配置し、教育支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援体制を構築し、学習活動や体験活動等の支援を行いました。また、市内全中学校で、あいさつ運動やSDGs活動の取り組み、能登半島地震災害義援金の募金活動を行うことができました。課題といたしましては、サポートティーチャー、サポートスタッフの人材確保や専門性の向上、また、年間を通して市内共通の課題等の情報共有をしていくことが課題です。今後の方向性としては、サポートティーチャー、サポートスタッフの研修会を開催し、指導・支援の専門性の向上を目指していきます。また、「OMOIAI運動」、「SDGs活動」を各学校の実態に合わせ、工夫して取り組んでまいります。

施策②「生きる力を育む学校教育の推進」については、児童生徒の学力向上に向けて、学力向上推進委員会や教務主任研修会を開催したほか、学校人権教育推進委員会や学校人権教育研究協議会をとおして教職員の人権意識を高め、指導力向上を図りました。また、体力向上プロジェクト委員会において、体育学習における指導方法について協議を行い、考えを深めたほか、小中学生に多く見られるスポーツ障害を予防できるようストレッチ事例集を作成し共有しました。課題といたしましては、授業力向上に向け、市内の教員に授業を見る機会を提供し、授業改善を進めていくこと、体力向上への取組を考え、実践していくことです。今後の方向性としては、引き続き授業改善や体力向上への取組を遂行していきます。

施策③「新しい時代に必要な資質・能力の育成」については、タブレット及びICT機器を活用し、社会に必要な「情報活用能力の育成」を図ることができました。英語の授業では、ICT機器を活用することで、授業力向上を図ることができました。課題といたしましては、1人1台端末の導入から3年、校務用パソコン等のICT機器導入から5年が経過し、バッテリー劣化等の機器の経年劣化による故障件数が増加していること、また、授業力向上の推進及び児童生徒の英語力向上です。今後の方向性としては指導内容に応じた1人1台端末及びICT機器等の効果的な活用について、教職員の研修を実施するとともに、経年劣化による機器の故障対応について取り組んでいきます。また、ALTを効果的に活用し、言語習得にとどまらず、グローバルな視点で物事を考え、世界で活躍できるきみつつ子の育成を目指し、授業改善や体力向上への取組を遂行していきます。

施策④「脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進」については、海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金を活用し、市内小中学校6校できみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラムや、「すすめ！さかなクン研究室inきみつ」を開催するなど、脱炭素につながる環境教育に取り組みました。課題としましては、取組には、学校側に負担がかかるため、働き方改革を推進するためにも、市からの手厚い人的サポートが必要であることです。また、助成金は令和7年度までのため、その後は市の一般財源となります。今後の方向性としては、海洋教育パイオニアスクールプログラム実施2年目となり、令和5年度の取組を引き続き実施し、さらにSDGs副読本の完成を目指していきます。

施策⑤「より良い学校環境の整備」についてですが、周西の丘小学校（旧坂田小学校）整備工事を開始しました。令和7年度2学期供用開始に向け、遅滞ないように進めていきます。また、各学校からの推薦に基

づき、自治会やPTA等から学校評議員を選出し、開かれた学校づくりの推進のための意見を聴取することができました。さらに、地域住民へスクールボランティアへの登録を呼びかけることで、より良い学校環境の整備に協力していただくことができました。課題としましては、学校施設の老朽化が進行しているということで、今後の方向性としては、「君津市学校施設の個別施設計画」に基づく整備を実施してまいります。

次に、指標の達成状況と評価について説明します。この施策分野では、5つの指標を設定しており、各指標の達成状況は表に記載のとおりとなります。一部、計画策定時の現状値を下回っている指標もございますが、既に最終年度の目標値を達成している項目も複数あることから、概ね計画どおり達成できたと考えております。総合評価としましては、施策分野全体としては概ね目標値を達成しているため、「B 概ね順調に進んでいる」といたしました。

続いて、教育振興基本計画の第2「全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える」について説明します。総合計画における位置付けは、「柱3の3 生涯学習」となります。

施策①「身近な場所で学び続けられる環境の整備」については、清和地域拠点複合施設「おらがわ」の整備を行うとともに、清和公民館の再整備を完了しました。また、周南、小糸、小櫃の3公民館及びその周辺施設の再整備の方向性を定めた、君津市公民館等再整備基本計画を策定しました。課題としまして、公民館再整備に関しては、地域の活性化につなげるような取組をする必要があること、また、PPP/PFI導入可能性調査を進めるにあたり、導入機能等の詳細を定めていく必要があることです。中央図書館に関しては、老朽化対策を計画的に行う必要があります。今後の方向性としては、地域団体と連携を取りながら地域の活性化につながる取組を実施していくとともに、君津市公民館等再整備基本計画に基づき、3公民館等の再整備に係るPPP/PFI導入可能性調査を実施し、再整備の手法、事業スケジュールなどについて、関係各課と連携しながら検討を進めてまいります。中央図書館に関しては、老朽化対策を計画的に行い、施設の長寿命化を図ってまいります。

施策②「子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実」については、公民館において、君津市総合計画目標指標「公民館事業における満足度90%」を達成しました。また、シニア層向けのデジタル機器操作、活用講座を実施するなど、各公民館で多様な事業を展開しました。さらに、連携協定を結ぶ企業等と連携を図り、生涯学習メニューの充実を図りました。課題としましては、新型コロナウイルスによる影響や高齢化に伴う会員の減少により、公民館利用サークル、公民館主催事業参加者が減少傾向にあること、また、これまで公民館がつながりを持ちにくかった障がい者や不登校など困難を抱えた人に向けた事業を試行したが、参加が想定より少なく、内容、周知などに課題があると考えられます。今後の方向性としては、公民館利用サークルや主催事業の参加者層を拡大できるよう、多様な事業展開に取り組み、生涯学習メニューの充実を図り、誰一人取り残さない地域を目指して、地域住民や関係機関などの様々な主体と連携した事業等に向けて検討を進めてまいります。

施策③「自主的に学び続けられる読書環境の整備」については、おはなしかいや映画観賞会などの参加型イベントの実施や新刊や市民からのリクエストを参考に資料を購入しました。また、図書館利用者アンケート、新聞・雑誌購読希望調査を実施し、市民ニーズの把握に努めるとともに、未所蔵リクエストなど、来館でのみ受け付けていた手続きをLOGOフォームを利用しWEB上で行えるようにいたしました。電子書籍は、新規登録者745人、サービス利用件数、ログイン数については7,271件、貸出数2,813点、電子雑誌閲覧数841回の利用がありました。課題としましては、新型コロナウイルスによる影響等により休止していたおはなしかい等のボランティアが減少していること、利用者アンケートで寄せられた意見を、今後の図書館サービスにどのように生かすか検討する必要があること、また図書館サービスのデジタル化を

推進する必要があることです。今後の方向性としましては、ボランティアの募集や育成を行ってまいります。また、アンケートや調査を参考に、周知やサービスの見直しなど今後の図書館サービスを検討するとともに、電子書籍サービスの継続や 図書館サービスデジタル化を推進し、利便性の向上を図ってまいります。

次に、指標の達成状況と評価について説明します。この施策分野では、2つの指標を設定しており、各指標の達成状況は表に記載のとおりとなります。総合評価につきましては、清和公民館開館や、君津市公民館等再整備基本計画を策定しました。公民館事業における満足度も目標値に達してありまして、図書館については目標値達成に向けて取り組んでおります。よって、「B 概ね順調に進んでいる」といたしました。

次に、教育振興基本計画の第3「市民が心豊かに暮らしていける環境を整える」について説明します。総合計画における位置付けは、「柱3の4 文化・芸術振興」となります。

施策①「多彩な文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくり」については、君津市民文化ホールを拠点とし、「おやこdeオペラ」や「きみぶんシネマ倶楽部」、各種コンサート、落語等、様々な年代の市民が多様な文化・芸術に触れることができる事業を実施しました。また、君津市文化協会、君津市民合唱団、きみつ少年少女合唱団等が実施する、文化振興のための市民活動を支援し、伝統文化の継承を図りました。課題としましては、市民活動団体の会員の高齢化に伴う文化・芸術団体の継続的な活動が難しくなっているため伝統文化の担い手不足への対策が必要であることです。今後の方向性としましては、君津市民文化ホールを拠点とし、様々な年代の市民が多様な文化・芸術に触れることができる事業を実施してまいります。また、君津市文化協会、君津市民合唱団、きみつ少年少女合唱団ほか2団体へ補助金を交付することで、文化振興のための市民活動を支援し、伝統文化の継承を図ってまいります。

施策②「文化・芸術に係る環境の整備」については、君津市民文化ホールにおいては、指定管理者に適切な運営管理を徹底するとともに、中ホールの引綱ロープ交換や大ホールの座椅子等の施設内の修繕を実施しました。漁業資料館においては、他施設への複合化等を含めた今後のあり方について関係機関と協議を行いました。久留里城址資料館においては、6月初旬の大雨で、久留里城本丸から二の丸間の登城道に大きな路肩崩落が発生しましたが、復旧整備を進め、3月には通行止めを解除することができました。課題としましては、君津市民文化ホールは築30年を過ぎ、修繕が必要な箇所が多くなってきていること、久留里城址資料館において、5月の地震で被災した天守閣については、整備が未着手となっているため、早期に復旧を図る必要があることです。今後の方向性としましては、君津市民文化ホールにおいては、指定管理者に適切な運営管理を徹底し、適宜施設内の修繕をするとともに、大規模修繕の対応方法を検討してまいります。漁業資料館においては、他施設への複合化等を含めた今後のあり方について関係機関と協議を行ってまいります。

施策③「地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくり」については、スクールミュージアム事業の重点実施校において、千葉県立中央博物館等と連携し、自然・歴史分野の専門家による体験プログラムを実施しました。また、夏休み期間中に、土器づくりの体験教室を開催したほか、漁業資料館と久留里城址資料館においては出前授業を実施いたしました。課題としましては、郷土の歴史や市内に残る文化財、文化遺産の保存及び次世代へ継承していくためのさらなる対策が必要であります。今後の方向性としましては、市内小学校の校外学習など、学校と連携した歴史学習等を行うことや、市内外への文化財の魅力発信や文化財を活用した学習機会の拡充により、伝統文化の継承を図ってまいります。また、文化財の所有者や保存団体等が行う修復や継承活動を支援するとともに、地域に残る伝統文化などを文化資源として周知を図ってまいります。

指標の達成状況と評価について説明します。この施策分野では、2つの指標を設定しており、各指標の達成状況は表に記載のとおりとなります。どちらの指標についても、概ね計画どおり達成できたと考えております。総合評価につきましては、文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくりや、地域の伝統文化を次

世代につなげる環境づくりにおいては、概ね目標を達成したと考え「B 概ね順調に進んでいる」といたしました。説明は以上となります。

なお、この点検・評価につきましては、本来、教育委員会会議の議決後、市議会に提出するとともに公表を行うところですが、現行の教育振興基本計画は君津市総合計画と整合を図って策定し、施策や指標についても同一としていることから、評価についても、整合を図る必要があるため、議会への提出及び公表は、総合計画の評価完了後を考えております。また、現在、君津市において実施中の総合計画の評価内容によっては、教育分野の評価に修正を要する可能性もありますので、その際は、総合計画の評価完了後に、再度、教育委員会会議へお諮りしたいと考えておりますのでご了承くださいませようお願いいたします。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等を伺いたいと思います。

まず、柱3-2学校教育について、ご質問等ございますか。

小倉委員

以前にも言ったかもしれませんが、指標の達成状況の全国学力・学習調査の全国との相対値というところで、目標が100点という意味ではなくて全国の平均点と同じになるということで、目標が100ではいけないと思いますし、目標はもっと高いところに置かないと目標は達成しないのではないかと思います。しかも算数・数学は非常に低い成績ですし、もう少し考え直していった方がいいのではないかと思いますのでうでしょうか。

諏方学校教育課長

まず本市につきましては、目標値が100ということが、どうなのかということではありますが、こちらにつきましては100という数値がゴール地点としては見やすいといったところもありまして、100を基準とした数値を示しているところです。しかし、委員のご指摘どおり100というところが、理解が100なのかどうなのかというところで言うと、少し分かりにくいところもあるのかと思います。今後、委員のご指摘を踏まえまして、この表し方というのも教育委員会の中で議論を進めていければと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

小倉委員

勉強ができればいいというものでもないし、勉強ができたから偉いという訳でもないけども、やはり、小学校、中学校で勉強している訳ですから君津市の学校に通わせると算数ができなくなるとか、数学ができなくなるとか言われぬように、君津市の学校に行くと勉強もできるようになると言われるようにしてもらいたいと思います。

増田委員

サポートスタッフについてですが、中学校のサポートスタッフが6名ということで、課題の中にも人材の確保とありますけども、もう少しここを増やしていけると良いと思いました。

諏方学校教育課長

委員のおっしゃるとおりサポートスタッフとサポートティーチャーという形で、中学校は主にサポートティーチャーを増やして、どちらかという学習のサポートを重点に置いているところでもあります。サポートスタッフは主に生活面ということになりますので、こちらは小学校を増やして、中学校と小学校でそれぞれサポートスタッフとサポートティーチャーの割合を変えているという状況であります。しかし、中学校にも支援学級がありますので、そのあたりも踏まえましてサポートティーチャー、サポートスタッフ、会計年度任用職員等の人数的な限りもありますが、また次年度に向けて検討していきたいと思っております。

佐藤委員

1人1台の端末の年数が経ち、直したり、海洋教育パイオニアスクールプログラム実施の助成金が令和7年度まででそれから先は一般財政から予算を取る必要があったり、この先予算的な面で段々苦しくなってくるような気がして、見通しとしてタブレットとかも常に新しいもので、データの的にも新しいものでやっていけるための予算の確保ができるのかという見通し等がありましたら教えてほしいです。

小嶋教育センター所長

現在、海洋教育パイオニアスクールプログラムが2年目となって、ゆくゆくは補助がなくなるかもしれませんが、今現在行っております海洋教育パイオニアスクールプログラムの中で、どのようなものを残していくか、またどのようなものを削っていくかというようなことを考えながら、実際行っているものが終わったあと振り返り等を行い、予算確保を十分検討していき、これで終わりにならないような形で、少しでも続けられるように十分に予算の計画を立てていきたいと考えております。

また1人1台端末に関しても同じような形で振り返りを行い、精査していくところは精査し、残すところは残すという形で振り返って予算を十分検討してまいりたいと考えております。

諏方学校教育課長

まず始めに海洋教育ですけども、こちらは昨年度から笹川財団から予算をいただいているものでございます。現在まで800万ほどいただいている中で、今年度は、市内の小学校5校、中学校2校で行っている状況であります。来年度までの3年間で、副読本の作成をとおして本市で今後SDGs教育につながる学習の基礎を、この3年間でいただいた予算で作って、その後、本市の山・川を利用したSDGsへつなげていくということも睨みながら進めている状況であります。なかなか予算が付かないところもあると思いますが、現在いただいているものをどう今後にかかしていくのかということも併せて検討しているという状況であります。

またICTにつきましては、令和8年8月31日で職員室のパソコン、子どもたちのタブレット、大型提示装置など全てのICTに関する契約が終わることになっております。国からもタブレットにつきましては補助金が半額出るというようなこともありまして、今そちらに向けて準備をしているところです。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、柱3-3生涯学習について、ご質問ございますか。

小倉委員

生涯学習ということで、周南、小糸、小櫃の公民館の老朽化で再整備の方向性を定め、計画の策定をした、とあって、私も小櫃地区ですけども、教育委員会が公民館に関与していることを小櫃に住んでいる人は知らないの、私にどうなっているのか聞かないで、だいたい高橋議員に聞いていますけども、この3つの公民館は小糸公民館も行ったことがあるので相当古いということも知っているし、周南公民館も相当古いということも分かるし、小櫃公民館も相当古いと分かっているの、見通しとしては、順番も明記されていませんけども、この3つの公民館の再整備が完了するのは、だいたい何年頃を目標にしているのかお聞きしたいのですがいかがでしょうか。

塚越生涯学習文化課長

現在、この3公民館は建て替えに向けて、先ほどの説明にもありましたけども今年度はPPP/PFI導入可能性調査ということで、建設にあたって民間活力を導入できないかということ今年度探っているところになります。今年度から主担当が市民生活部の地域づくり課というところで現在、主に事務をすすめております。もちろん公民館の建て替えになりますので、生涯学習文化課も関係課として一緒に事務を進めているところであります。

今後の見通しというところでは、この個別施設計画の中で、令和12年度までに3館建て替えという目標を掲げております。これから民間活力の調査等で民間の業者にヒアリングなどをしていきまして、一応目途としましては今年度中には3館の建て替えや、民間活力が活用できるかも含めて、それによって順番も変わってくると思いますので、令和6年度中には出てくるのかと思っています。

小倉委員

民間活力というのは、今までは公民館だけだったけど、公民館の中に民間の別の施設も一緒に入れて、一緒に建てて予算を少し減らそうとか、そういう意味の民間活力なのでしょうか。

塚越生涯学習文化課長

通常ですと市が設計の受注を委託に出して、そのあと建設業者と建築の契約をしまして、個別に行っていくのですが、そのあたりも民間の方はいろいろなノウハウやアイデアを持っていますので、聞き取りをしながら建設に向けて、民間の業者から手上げがあるか分かりませんが、設計から建設まで民間の方に立ていただき、最終的には市で支払いを平準化して支払っていくのは変わらないのですが、建てていく中で、民間の中で良いアイデアがあって、各地区様々で集約化するか、一緒にするとかはっきりしていない部分の施設もありますが、各地区の市の施設を集約したり、統合したりする中で、さらに良いアイデアがあれば民間業者のアイデアを取り込んでいけるかどうかは、これからになりますけども、そういったことも含めて検討していく形になります。

佐藤委員

清和の複合施設おらがわの感想ということで、公民館の利用者アンケートの満足度が91.6%でおらがわという新しい施設を使ってという部分も大きいと思います。確かに新しく気持ちよくとても使いやすい施設です。ありがとうございます。そしてコミュニティ清和まつりや文化祭とか羽釜で炊いた朝ごはん体験など、いろいろな活動に他地域の方もたくさん来てくださり、例えば羽釜ごはんは予約が取れないくらいです。反面、お年寄りの多い地域で情報発信が携帯電話とかネットとかが中心で、それすら知らないというこ

とで、年齢の差によって情報の行き渡り方が全然違うので、お年寄りなどの地域に住んでいる人たちにも良さが伝わり、みんなで集まりたいと思えるような草の根的なものをしていかないといけないと感じました。大変ありがたい施設ができ、情報発信する方法もできたので、他世代も埋めていくための手段もこれからやっていかなければいけないと感じましたので、私も頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

塚越生涯学習文化課長

おらがわだけでなく公民館全体的に周知というのが一番大事だと考えております。公民館でも館報でしたりチラシで自治会回覧ということで紙ベースのものと、最近はやはりSNSということでメールやLINEを使って情報発信をしておりますけども、それでもなかなかSNSは登録していただかないと届かないところもありますし、だからといって紙だけでは回覧できたものを通り過ぎてしまうところもあると思いますので、どちらも両方が上手く広くみなさんに情報が行き渡るようにというのは、本当に重要だと思っておりますので、公民館でも今後どうしたらみなさんに広く周知でき、公民館という存在を知っていただくことが第一だと思っておりますので、今後またどういうことができるかということ公民館全体で考えていきたいと思っております。

小倉委員

清和に新しくできた施設の前を通った時に入ってみようと思ったけども入り口が分かりにくいというか、入りにくいというか、今後改善されたりするのですか。

塚越生涯学習文化課長

確かに現在の清和のおらがわに入っていくところは、元々の清和公民館から1本中に入ったところからの場所と、今は表の農協側からも入れるようになってきていると思います。確かに入り口はどちらも狭くて一見すると少し分かりづらいところがあるかと思えます。今後、道がどのようになるかというのは、まだはっきりとしていないのですけれども、できればやはり、地元の方はもちろん知っていると思いますが、他から来た時に入りやすいということは確かに重要だと思います。ただ道の形状がどこまでというところもあるので、看板をもう少し分かりやすいところに設置するなどの検討もしていかなければならないのかと思います。私どもだけではできないところもありますが、検討させていただきたいと思えます。

丸教育部長

当初おらがわを建設する際に、今は日東交通などのバスも来ているのですが、コミュニティバスもそこに入れるというところで、農協側の入り口を拡幅して入りやすいようにということでやっておりました。後ろには保育園もありますので、そちらの道も整備をしているところです。ただそのあたりがなかなか上手く進んでいないという情報は聞いておりますので、利用者が利用しやすく、入りやすい方向で今後も引き続き検討をしていくところであります。

粕谷教育長

最後に、柱3-4文化・芸術振興について、ご質問ございますか。
他に質問等も無いようでございますので、採決を行います。

議案第1号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について、賛成の委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

粕谷教育長

挙手全員。よって、議案第1号は原案のとおり可決いたしました。

粕谷教育長

次に、議案第2号 君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示について、を議題といたします。議案第2号について、事務局の説明をお願いします。

諏方学校教育課長

議案第2号 君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示についてご説明いたします。

本議案は、君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正するため、君津市教育委員会行政組織規則第4条第2号の規定により、議決を求めるものでございます。内容といたしましては、特別支援教育就学奨励費の申請に関し、これまで申請者に様式1と様式2の提出を求めていましたが、様式1のみで必要十分な情報が得られることから、様式2の提出を削るものでございます。あわせて、押印を求める手続きを見直し、申請様式から押印に関する内容を削るものでございます。

また、文部科学省による需要額測定要領の改正により、需要額を測定する時点が「前年の12月末」と断定されたことから、市要綱の附則で『前年12月末日』とあるのは『平成24年12月末日』とする」としているものを削るものであります。

なお、要綱改正に伴う経過措置といたしまして、令和6年度における様式については、改正前の様式により申請のあった場合においても、使用することができるものとしております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

質問等も無いようでございますので、採決を行います。

議案第2号 君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示について、賛成の委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

粕谷教育長

挙手全員。よって、議案第2号は原案のとおり可決いたしました。

粕谷教育長

次に、報告第1号 専決処分共催及び後援関係の報告について、を議題といたします。報告第1号について、事務局の説明をお願いします。

茂木教育部次長

報告第1号 専決処分共催及び後援関係の報告についてご説明いたします。

6月の教育委員会会議にて報告させていただいた以降に、専決処分し、共催及び後援を承認した行事について報告いたします。案件は共催が1件、後援が23件ございますが、このうちの1件について説明いたします。共催の「令和6年度 第78回千葉県中学校総合体育大会」は、中学校教育の一環として、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上と心身の健全な育成を図るとともに、生徒相互の親睦を図ることを目的として、令和6年6月24日（月）から体操競技をはじめとした全18種の競技が8月2日（金）まで開催されるものです。

その他23件につきましては、行事の後援に関する規程に基づき、後援を承認し、君津市教育委員会行政組織規則 第8条第1項第7号の規定により、専決処分をしたので、同条第2項の規定により報告するものです。

以上でございます。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

質問等も無いようでございますので、次に、報告第2号 令和6年度出土遺物公開展「小糸川周辺の鎌倉・室町時代～みふねの里保育園の下に遺跡があった！～」の開催について、を議題といたします。報告第2号について、事務局の説明をお願いします。

塚越生涯学習文化課長

報告第2号 令和6年度出土遺物公開展「小糸川周辺の鎌倉・室町時代～みふねの里保育園の下に遺跡があった！～」の開催についてご説明いたします。

出土遺物公開展は、君津市内の遺跡から発掘された出土品を展示し、身近にある文化財への関心を深めることを目的として実施しています。今年度は、「小糸川周辺の鎌倉・室町時代～みふねの里保育園の下に遺跡があった！～」と題し、小糸川中・下流域の遺跡から見つかった鎌倉・室町時代の出土品を展示します。期日は8月20日（火）から9月1日（日）まで君津中央図書館にて開催します。また、最終日の9月1日には、みふねの里保育園建設に伴い実施した富吉遺跡Ⅲの調査成果について、調査担当者による報告会を予定しております。

以上、報告いたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

鎌倉・室町時代というのは、何を根拠にその時代の遺跡であると分かったのかというのほどここに答えは書いてありますか。

塚越生涯学習文化課長

主に出てきたものが、陶磁器の欠片が多数出ているというところで、出てきた陶磁器というものから、このものであれば鎌倉・室町のものであると判別しているものだと思います。

小倉委員

このチラシによると、鎌倉時代頃の掘立柱建物跡群が見つかったからとありますね。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第3号 イングリッシュ・デイ・キャンプ・英検プラクティスについて、を議題といたします。報告第3号について、事務局の説明をお願いします。

小嶋教育センター所長

報告第3号 イングリッシュ・デイ・キャンプ・英検プラクティスについてご説明いたします。

本市の外国語教育推進事業は、君津市の教育大綱に示されている、ふるさと君津に誇りを持ち、「世界を舞台に活躍できるきみつつ子」の育成を目指して取り組んでおります。イングリッシュ・デイ・キャンプは、英語への興味・関心が高い、参加を希望する子どもたちに、これまで学んだ英語を実際に活用する場として実施してまいりました。今年度、イングリッシュ・デイ・キャンプは開催から10周年の節目の年となります。オリンピックイヤーと重なることもあり、「きみリンピック2024」のテーマのもと、小学5・6年生、中学生を対象に8月9日（金）に「おらがわ」で開催いたします。現在43名が申し込んでいます。英語を使ってオリエンテーリング形式でスポーツ競技やクイズに挑戦します。参加者が仲間と協力しながら、英語で課題解決をしていくところが見どころです。

また、昨年度より始めた中学生向け英検プラクティスは、英検2次試験を想定した模擬面接を通して、英語で、即興でコミュニケーションする力を育成することをねらいとしております。年に3回、英語検定開催時期に合わせて、ALTとマンツーマンで対話し、個々のレベルに応じたアドバイスが受けられるため、参加者からとても好評を得ています。英語学習への意欲の喚起、動機付けを更に深め、本市の教育大綱のねらいに添えるよう取組を図ってまいります。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

小倉委員

イングリッシュ・デイ・キャンプの参加希望者43人というのは、もう締め切ったのですか。

小嶋教育センター所長

資料には定員は40名と示しておりますが、こちらは、まだ締め切っておりません。少し余裕を持たせているので、定員は広げて対応できます。当初60人くらいまで大丈夫ではないかと担当者は申しました。

小倉委員

私も60人くらいに人数が増えた場合、1日だけではなく、別にもう1日くらいやったらどうかと思ったのですが、60人くらいまで大丈夫ということなので、よろしくお願いします。

増田委員

今までは小学生だけだったけども、今年度は中学生にも拡大するというので、中学生の参加はどのくらいいるのか教えていただきたいです。

小嶋教育センター所長

今43名としか把握しておりませんので、担当者に確認して後ほど回答させていただきます。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第4号 君津市中学校合同生徒会について、を議題といたします。報告第4号について、事務局の説明をお願いします。

小嶋教育センター所長

報告第4号 君津市中学校合同生徒会についてご説明いたします。

本市では、自校の枠を越えた中学校生徒会同士の交流や、報告会、協議会等の活動を通して、自主性・協調性・コミュニケーション能力等の社会性を養うために、中学校合同生徒会事業を推進しております。平成21年の発足以来15期目を迎えた中学校合同生徒会は、活動テーマを「Shiny～ともに輝く君津～」に決定し、共通の取組として「OMOI（思い合い（愛）運動）」、「SDGs活動」に取り組んでおります。2つの共通の取組では、各校、愛のある活動の工夫や社会の課題を自分事として捉え、活動を広め、主体的に取り組んでおります。共通の課題意識をもち、一斉に取り組むことにより、リーダーとしての意識改革・連帯感を育み、やがては君津市のリーダーとして活躍していける生徒を育成していきたいと考えております。

また、8月20日に行われる第15期全体協議会では、NPO法人地球のステージ代表理事 桑山紀彦様を講師として、「ともに輝く未来にしていけるために、中学生にできること、幸福とは」というテーマで記念公演をしていただきます。君津市でもこども計画を作成するにあたり、「幸せとは何か」と生徒たちが考えるきっかけになればという思いからこの講演を企画しました。そして、全体協議会での生徒たちの意見を市の施策に取り入れていきます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

全体協議会で桑山さんをお迎えしての講演会ですけども、参加生徒数はどれくらいになるのでしょうか。それから一般の方の参加は可能ですか。

小嶋教育センター所長

中学校各校3名、計21名が参加する予定であります。保護者の参加申込者は今のところ3名です。その他にこの講演会をZoomで学校関係者、保護者のみに配信することはできるということでもあります。

粕谷教育長

合同生徒会役員の各中学校代表3名で7校だから21名。それ以外の市内各中学校代表生徒というのはプラスアルファで参加できるという捉えでいいですか

小嶋教育センター所長

10名という枠までは、会場と一緒に来て参加することができるということでもあります。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第5号 保護者連携システムについて、を議題といたします。報告第5号について、事務局の説明をお願いします。

小嶋教育センター所長

報告第5号 保護者連携システムについてご説明いたします。

本市では「子育てできる環境づくり」、「脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進」、「より良い学校環境の整備」の実現を目指し、ICTを活用して、学校と保護者や地域を円滑に結ぶことのできるシステムを導入し、9月から運用を開始いたします。導入するシステムについては、6月14日に公募型プロポーザルによるプレゼンテーションおよびデモンストレーションを実施し、「バイザー株式会社」の「すぐー」を選定いたしました。導入したシステムの概要につきましては、学校からのメッセージ配信や便り等の電子配信に加えて、欠席連絡や地域における協働体制の構築が可能で、学校と保護者や地域をICTの技術で結び、「保護者の利便性向上」、「学校の業務効率化」、「迅速な情報伝達」が実現できます。

今後、市内小中学校で9月以降の本格稼働を目指し、7月中に運用準備・保護者へ周知、8月中には保護者に利用登録をしていただき、テスト配信をする予定です。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

小倉委員

この保護者連携システムは前提として、保護者は全員スマホやタブレットなどを持っているということですか。持っていない人は今の時代あり得ないということで、もし持っていない人がいたりしたら、以前GIGAスクールの時にWi-Fiがない人にWi-Fiを何とかするみたいなこと言っていたけども、その辺はどうなのでしょう。

小嶋教育センター所長

今のところはWi-Fi環境については、もしない場合は現在子どもたちに1人1台端末を渡していますので、そちらについては把握ができる状況であります。

今現在も連絡メールを使わせていただいております。それに対しましても、もしお持ちでない方がいた場合、緊急時の報告は各学校で、その家庭等へ直接連絡するなどの対応をいたします。この対応等につきましても、また十分検討していきたいと思っております。Wi-Fi環境のない家庭に対しましてもすぐに対応していきたいと思っております。

諏方学校教育課長

補足させていただきます。基本的にこれまで連絡メールを使用してきました。その際には保護者が携帯電話を通じての連絡という形でしたので、各学校から保護者が、ツールがないというような問い合わせはなかったというようでもあります。ただ先ほどルーターを使ったWi-Fi環境というのはタブレットになりますと家にWi-Fi環境がないと使えないということでしたので、各学校で把握しているの、持ち帰った場合にはルーターを使用するという形になっております。

粕谷教育長

このシステムは学校と保護者をつなぐ場合は、相手は保護者のスマホだけで、周りの環境を整える必要はないということだと思っております。

小倉委員

保護者がスマホではなく他のタブレットとかに変えるという訳ではないのですか。

諏方学校教育課長

今までのガラケーと言われる従来型の携帯電話でも届くようになっております。

粕谷教育長

保護者を対象にして、スマホあるいはガラケーの携帯電話で全世帯の保護者に連絡ができるシステムであるということです。

小倉委員

始まったら本物でなくてもいいので、どんな感じが少し見てみたいです。私の頃は当然こういうものはなかったの、お便りも届くようになるとスマホで読むことになるのですか。イメージがわからないので実際に見てみたいと思っております。

粕谷教育長

7月中に保護者へシステムを周知し協力の依頼をして、8月中にテスト配信ということですか。

諏方学校教育課長

この夏休み中に保護者に登録をしてもらう作業が大事になるかと思います。

粕谷教育長

そして9月から稼働ということですが、私もイメージがわからない1人なのですが、実際どういうものなのかということが大事になってくると思うので、現時点でイメージを伝えてくれることは可能ですか。

小嶋教育センター所長

現時点では手元にもものが入っておりませんので、今現在お見せすることはできないのですが、保護者はスマホで見ることがほとんどだと思うのですが、スマホだと画面が小さいと思いますので、大きくして読むことになると思います。

諏方学校教育課長

補足させていただくと、今までは言葉で連絡する連絡メール、例えば、「明日は雨が激しいため、遅刻になりません」みたいな連絡を緊急時に送っていたところがあったのですが、今回の文章を送るとのことと、朝の出欠席の連絡をスムーズに間違いなくやろうということが1つの柱になっております。今までは学校に担任や管理職の先生などに電話連絡をするということで、非常に朝のやりとりが多いということで、スマホから簡単に登録ができて連絡ができるということ。それから文章、またイメージ的にPDF化した学校便りとか、学年便りや学級便りなどが送ることができ、携帯電話ですので文字は小さいのですが、大きく拡大していただき見るというような形になっております。ただしガラケーに関しましては見ることができないということなので今までどおり、その家庭には文章で連絡がいくというような話を聞いております。

小倉委員

いくらくらいか分からないけど、紙代が掛からないということですか

諏方学校教育課長

はい、そのようになります。

増田委員

その出欠席や遅刻の連絡も、電話だと何時何分から何時何分までとか細かくなってしまうので、保護者としてもこのシステムは、非常にありがたいです。男の子だとなかなか手紙を出してくれなくて、例えば、陸上練習参加の締め切りが過ぎてしまったりとか、ぐちゃぐちゃになって出てきたりするので、このお便りの電子配信は非常にありがたいです。その陸上練習参加とかの手紙は、これまで、はさみで切って出していたものなどの手紙に関しては、このシステムだと、どういう感じになるのかお聞きしたいです。

諏方学校教育課長

まだそのあたりについては把握しておりませんが、これから学級だけでなく、各部活動の連絡であるとか、また今年度からは部活動の地域移行ということで外部とのグループであるとか、そういったグループ化もできるということでやりとりができるとありました。

確実ではないのですが、もしかするとシステム上でチェックを入れると陸上に参加しますとか、しません

とかということも、分かりませんがシステム上でできるかもしれません。今いろいろなところで可能になってきていますので、分かりましたら、またご報告させていただきます。

小倉委員

できれば1度見てみたいです。

粕谷教育長

できれば次回の会議で、導入前に試験的にこの場で見せられたらと思います。

非常にタイトなスケジュールの中でのシステム導入になりますので、保護者への周知、各学校への協力依頼、また徹底しないといけないことがたくさんありそうなので、間違いなく進めてまいりたいと思います。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、公開の案件は終了といたします。引き続き、中央図書館から連絡事項がありますので、中央図書館長、よろしくをお願いします。

高橋中央図書館長

中央図書館では、夏休みに子どもが本と出会ったり、図書館を利用する機会を増やすきっかけ作りを目的とした、夏休み子ども行事を開催します。内容としては、4つの行事がございます。

まず、民間事業者との連携による新たな事業の展開として、DIYでおなじみの株式会社カインズ様とのコラボ企画による、「夏休みDIY子ども工作会」を開催します。カインズ木更津金田店様にご協力いただき、7月23日（火）と8月4日（日）に、小学生を対象とする、木材を組み立てて、本棚を作る工作会を開催します。両日とも、午前の部、午後の部の2回で、合計4回開催し、定員は各回20名になります。

次に、図書館でのお仕事体験として、中央図書館と市民体育館分室で、「一日体験図書館員」を開催します。申込みは、いずれも7月2日（火）から開始し、DIY子ども工作会は大変好評で、申し込み開始から7月8日までの1週間で、合計80名の定員に達しました。参加者の内訳は、君津市が59名、木更津市が15名、袖ヶ浦市4名、鴨川市からの申し込みも2名ございました。一日体験図書館員は、往復はがきによる応募で、12日の時点で、中央図書館は定員5名のところ、9名の申し込みがありました。市民体育館分室はまだ受付中ですが定員に達しない場合、中央図書館の抽選に漏れた方に、体育館分室での体験はいかがか、ご案内を差し上げることも検討しています。

また、7月26日（金）には、中央図書館で年4回実施している季節のおはなし会の夏の会といたしまして、「夏のちょっとこわーいおはなし会」や、子ども向けの人気映画やアニメ等を上映する「夏休み子ども映画観賞会」を開催します。こちらについては、事前申込みは不要となります。行事の詳細は資料の記載のとおりです。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

私から質問よろしいでしょうか。この「なつやすみはとしょかんイベントにGO」のチラシの中のおはな

し会と映画鑑賞会は対象が書いていないのですが、おじいちゃんやおばあちゃんとかは参加できますか。

高橋中央図書館長

どなたでもご参加いただけます。映画鑑賞会は160名の定員ですので保護者も一緒に鑑賞していただけます。それから夏のおはなし会については、3部に分けていまして、3歳からの絵本の部と低学年と高学年のおはなしということで3回に分けております。

佐藤委員

これに直接関わる話ではないですが、先ほどの保護者アプリで紙媒体ではなく連絡するというので、これまでは学校で配っていたと思いますが、こういうチラシも先ほどのアプリで配信できるのでしょうか。

こういうチラシもできたらデータで配信できると、紙や印刷代も少なくなるのではないかと感じました。

粕谷教育長

これは、誰を対象にどういう形で配布されたのですか。

高橋中央図書館長

こちらの各行事につきましては、各小学校、図書館や公民館で、紙でお配りし、それからポスターを貼るなどしております。そのような形で周知させていただきました。また広報7月号にも載せました。

粕谷教育長

子どもたちには、かなり周知されているようです。それから先ほどのデータ配信について、こういったものも紙ではなくてデータとして配信できる対象になり得るのかということなのですがどうでしょうか。

諏方学校教育課長

先ほどもお話しさせていただきましたけれども、基本的にはこういった文章を送ることができるということになっております。ですから各学校からこういった手紙を各保護者に送ることは可能ではないかと思いません。

これはまだオープンにはしていないのですけれども、今回この「すぐーる」の最大の良さというところで実は教育委員会からも市内の小中学生に文章や連絡ができるというような特性もあります。

しかしこちらについては本当に緊急時とかのみで、頻繁にはできないのですが、もし何かあった場合は教育委員会から市内の小中学生全員に文章を送ることができることは可能になっております。

話が戻りますけれども各グループを作るという中では、教育委員会から発信するのであれば、先ほど試しに教育委員のみなさんという話が出ていましたが、こちらは別料金になってしまうかもしれませんが、教育総務課から教育委員さん宛に文章を送ったりすることも可能と言えれば可能になっていくのかと思われます。

粕谷教育長

「すぐーる」の文書内容の多言語翻訳と書いてあったのだけでも、これは外国人の家庭に日本語から母国語に翻訳されたものが届くということで理解していいのでしょうか。

小嶋教育センター所長

そのような形で対応できると聞いております。

諏方学校教育課長

アプリの中には10数カ国ということでもあります。もちろん文章自身を日本語で送っても、見る側は自動的に翻訳をしてくれてその国の言葉に変えられているというようなお話でした。今非常にいろんな国の保護者がいるということで、そういった形で対応されているという説明がありました。

粕谷教育長

外国語で書かれたものも、こちらへ届くと日本語になっているということですか。

諏方学校教育課長

それも可能ではないかと思われまます。

粕谷教育長

図書館関係から話が戻ってしまい申し訳ありませんでしたが、図書館関係の夏の子ども行事についてのご質問等はよろしいでしょうか。

粕谷教育長

それでは、先ほどの質疑で回答できなかったものがありましたので、ここでお答えさせていただきます。

小嶋教育センター所長

イングリッシュ・デイ・キャンプの参加者の内訳ですが43人のうち小学5・6年生が35名、中学生が8名が今のところの希望者数です。

粕谷教育長

他に、質問等も無いようでございますので、これより、非公開審議に入ります。
傍聴者につきましてはご退室いただきたいと思います。

議案第3号 令和7年度使用教科用図書の採択について

諏方学校教育課長の説明後、質疑を行い、原案のとおり可決した。

粕谷教育長

本日の議案はすべて終了いたしました。その他、委員の皆さん又は事務局から何かございますか。

粕谷教育長

他に無ければ、以上をもちまして令和6年第7回君津市教育委員会会議を閉会いたします。
お疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証するため署名する。

令和6年8月19日

君津市教育委員会教育長 粕谷哲也